

平成30年度 学校評価計画

このたび平成29年度「学校評価結果」を踏まえまして、平成30年度「学校評価計画」を作成しました。

本年度は、この「学校評価計画」の「評価指標」及び「活動計画」に基づき、教育活動の充実・発展に努めます。

徳島県立川島高等学校

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
(1)中高一貫教育の推進	①中高連携の促進に努め生徒の個性や能力を伸長するとともに、異年齢集団における社会性の育成を進める。 ②6年間の計画的・継続的な教育の研究を進め中高一貫性を促進する。	評価指標	①・中高一貫教育推進委員会を定期的に開催し、学校行事の内容を検討し、充実させる。 ・「中高一貫教育を活かした教育活動が行われている。」と思う教員・保護者の割合は、80%以上をめざす。 ・「学校生活に満足している」の割合は、80%以上をめざす。 ②・平成31年度の教育課程を中高連携のもと、年2回以上検討する。大学入学共通テストに適応する教育課程を検討する。 ・中高相互の授業見学、中高合同の教科会を適宜開くことにより、生徒の実態を把握し、よりよい中高一貫教育のあり方等を検討する。
		活動計画	①・6年次対象の「6年間の学校生活」のアンケート結果を踏まえ、中高連携の学校行事をより充実させる。 ・7月の中高一貫教育説明会、10月の県立川島中学校2年生対象説明会での発表内容を十分検討する。 ②・平成31年度の教育課程を教育課程委員会及び中高一貫教育推進委員会で検討し、編成する。 ・中高相互の授業見学、研究授業に対する合同協議や中高合同の教科会において、授業方法等について検証し、授業の工夫改善を図る。 ・今年度実施の授業展開やクラス編成の検証をする。

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(2)確かな学力の充実と指導力の向上</p>	<p>①個別面談の充実や、朝の学習、家庭学習など自主学習の促進に努める。</p> <p>②学力向上を図る研修の充実や、授業の創意工夫に努める。</p> <p>③アクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の研究を推進する。</p>	<p>評価指標</p> <p>①・三者面談や個人面談に対する生徒の満足度 75 %以上をめざす。</p> <p>・手帳（スコラノート）を活用することにより、家庭での平日学習時間を平均 10 分伸ばす。</p> <p>・漢字検定、英語検定準 2 級以上の合格者数は、合わせて 50 人以上をめざす。</p> <p>・「朝の学習により、学習の習慣が身についた。」と思う生徒の割合は、50 %以上をめざす。</p> <p>・読書の推進に努め、年間入館者数 13,000 人以上を目指す。</p> <p>・基礎学力向上をめざして、校内課題テストの基礎分野 50 点で学年平均 25 点以上をめざす。</p> <p>②・生徒の授業に対する満足度は、75 %以上をめざす。</p>	
		<p>活動計画</p> <p>①・生徒との常時面談を心がける。</p> <p>・朝の学習の時間を毎日 10 分間設定し、本校独自の「朝の学習ノート」で自学自習を行わせる。4・5 年生は漢字検定及び英語検定合格を目標とした学習を行う。6 年生は各自の進路目標を達成のための学習を行う。</p> <p>・毎週月曜の朝、手帳（スコラノート）に週の計画を立てさせる。また、可能な範囲で授業でも活用する。</p> <p>・宿題・週末課題の提出を義務づける。</p> <p>・家庭学習時間調査を毎月行う。</p> <p>・図書館だよりや展示内容の充実を図るとともに、各教科と連携して、授業における図書館利用の機会を増やし、読書への興味関心を喚起する。</p> <p>②・学力向上検討委員会と連携し、国・数・英・理・歴・公における学力・学習状況についての目標・方策を設定し、学習支援体制の改善に努める</p>	

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(3)生徒の能力・適性に 応じた進路の実現</p>	<p>①進路指導プログラムの 改善・充実を図り、進 路達成意欲を高める。</p> <p>②三者面談・年次PTA などにより保護者との 連携強化に努める。</p>	<p>評価指標</p> <p>①・補習，校内課題テスト，模試等に積極的に取 り組む生徒の割合は，75 %以上をめざし，保 護者の満足度は，80 %以上をめざす。 ・進路意識を高める行事や講座に対する満足度 は，生徒・保護者ともに75 %以上をめざす。</p> <p>②・個別面談に対する保護者の満足度は，85 %以 上をめざす。 ・進路指導に対する保護者の満足度は，75 %以 上をめざす。</p>	
		<p>活動計画</p> <p>①・進路達成のために補習，課題テスト，模試を 計画的に実施するだけでなく，「朝学」「総合 的な学習の時間」「土曜日補習」「サテライン 授業」など様々な学習支援を行い，学力や小 論文力養成を図る。 ・4年生に対し「職業人講演会」，5年生に対し 「アカデミックレクチャー」，6年生に対し「進 路ガイダンス」を実施する。 ・小論文講演会，進路講演会，進学座談会を各 1回以上実施する。 ・6年生の就職生集会を年8回，5年生の就職 公務員説明会を年1回実施する。</p> <p>②・夏季休業中，冬季休業中，大学入試センター 試験後などに，三者面談を実施する。 ・年次PTAを年2回（5・10月）実施し，保 護者面談や保護者対象の進路講演会を実施す る。 ・PTA大学視察を年1回実施する。</p>	

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
(4)基本的な生活習慣の確立を図る生徒指導の徹底	①生徒一人一人の自覚を促し、基本的な生活習慣を身につけさせる。 ②あらゆる教育活動を通して、きめ細やかな生徒指導を行い、いじめの防止等の取組に努めるとともに教育相談活動との充実を図る。	評価指標	①・全校集会、指導週間を月1回実施し、基本的な生活習慣の確立を中心とした生徒指導の徹底・充実に努める。 ・学校評価アンケートにおける、生徒の達成度は、80%以上をめざす。 ②・学校評価アンケートにおける、生徒指導に関する生徒・教職員の達成度は、80%以上をめざす。
		活動計画	①・ホームルーム活動、年次集会、全校集会、指導週間等のあらゆる機会を活用し生徒の自覚を促し、指導の徹底を図る。また、登下校指導、校内外巡視等を適宜実施し、生徒の実態把握とともに生徒の注意を喚起することによって事故や問題行動の未然防止を図る。 ②・授業態度、身だしなみや携帯電話に関する指導等について共通理解し、指導の徹底を図る。また、教職員間の情報交換を密にし、個々の生徒の指導について連携して取り組む。さらに、ホームルーム担任を中心に保護者との連絡を密にし、相談等に対応する。 ・長期休業中の校外巡視等、PTAや地域、青少年育成補導センター、警察署等の協力のもとで実施し、連携を深める。 ・交通講話、非行防止教室、交通安全教室、薬物乱用防止教室（4年生対象）、健康教育講演会（4年生対象）を年1回以上実施する。 ・カウンセリングの体制を充実させ、丁寧な支援を行う。

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(5)人権尊重の精神の涵養を図る人権教育の推進</p>	<p>①人権教育指導計画の推進と“あわ”人権学習ハンドブックを活用するとともに人権問題を解決できる生徒の育成に努める。</p> <p>②人権尊重の意識を高めるため、創意溢れる具体的な取組の展開に努める。</p>	評価指標	<p>①・「人権学習ホームルーム活動の実施回数と内容は適切であり、人権教育は充実している。」と思う生徒の割合は、80%以上をめざす。</p> <p>②・「人権の大切さを学び、それを日常生活に活かそうとしている。」と思う生徒の割合は、85%以上をめざす。</p> <p>・「人権を大切にしている教育活動が行われている。」と思う保護者の割合は、85%以上をめざす。</p>
		活動計画	<p>①・人権学習ホームルーム活動においては、各年次や各クラスの実態に応じた学習主題を設定し、できるだけ多くの「個別的な視点」や「普遍的な視点」を盛り込んだ授業を展開し、生徒が積極的に参加できる授業の改善に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年次で必ず「同和問題」についての学習を取り上げ、同和問題に対する生徒の意識の向上を図る。 ・徳島県人権教育推進方針に追記された「日本人拉致問題」「災害時における人権問題」、さらには「性の多様性」についても教材化に努め、積極的に取り入れる。 ・授業展開・資料に関して近年の新しい人権課題や他校の動向等も考慮し指導内容の改善に努める。 <p>②・支援学校との交流への積極的な参加を促し人権意識の高揚を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権新聞の編集に人権委員を積極的に活動させ、内容の充実を図り、年3回発行する。 ・講演会や「人権の日」の放送等については、中学校や保護者等に配慮して検討し充実させる。 ・校内外の様々な取組において人権委員がリーダーシップを発揮し活動が活性化するように指導する。 ・人権尊重の精神の涵養を図り、日頃の声かけ、呼びかけに努める。 ・道徳教育の観点からも生徒一人一人の「生きる力」の育成に努める。

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(6)心身ともに健康な生徒を育てる特別活動の充実</p>	<p>①学校行事，生徒会活動等を通じて生徒の自主性の育成に努める。</p> <p>②ホームルーム活動や部活動のより一層の活性化を図る。</p>	<p>評価指標</p>	<p>①・通学路の一斉清掃を学期に1回実施する。 ・川島中高祭，球技大会など，学校行事への生徒の満足度を80%以上にする。 ・「生徒の主体性を促し，集団の一員としてよりよい生活を築く」ため，適切な指導を行う。</p> <p>②・中央委員会を開催する。 ・部活動の入部率85%以上をめざす。 ・部活動委員会を年2回開催する</p>
		<p>活動計画</p>	<p>①・生徒会や各種委員会が連携し，通学路や校内の清掃を行うなど積極的に美化活動に取り組む。 ・川島中高祭への積極的参加を促し，意識の高揚を図る。また，生徒会を中心に生徒が主体となって運営できるよう適切な指導を行う。</p> <p>②・部活動への積極的な参加を促す。また，部員同士で十分に話し合いをさせ，年間活動方針を明確にさせる。 ・部活動委員会を通して，部活動間で連携を深めるとともに，問題点を抽出し話し合う。</p>

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(7)環境教育及び国際理解教育の推進</p>	<p>①新学校版環境ISOに取り組むなど環境保全活動に努める。</p> <p>②国際性を高めるため積極的に国際交流を図る</p>	<p>評価指標</p> <p>①・『新 学校版環境ISO』に取り組み，清掃活動や環境美化に積極的に取り組んでいる。」と思う生徒の割合は，80%以上をめざす。 ・「ゴミの分別・節電・節水等に努めている。」と思う生徒の割合は，80%以上をめざす。</p> <p>②・海外語学研修以外に国際交流を目的とした研修やプログラムの参加を促す。</p>	
		<p>活動計画</p> <p>①・『新学校版環境ISO』告知板を掲示し，活動内容の広報に努める。 ・各クラスの日直に「節電・節水，ゴミ処理，環境美化への取組」をEcoDiaryに記録させ，意識の高揚を図る。 ・各クラスにゴミ箱3種類と「古紙回収箱」を設置し，ゴミ分別とゴミの減量化を呼びかける。 ・「レッツ・クリーン」環境美化活動を委員会・生徒会の活動にとどめず，4年次生全体を巻き込んだ活動に広げる。 ・美化委員と生徒会が協力して，『新学校版環境ISO』の告知板，節電・節水・ゴミ分別ポスターの掲示やラベルの張り替えを行う。</p> <p>②・校外の国際交流行事への参加を積極的に促し，参加に向けた適切な指導を行なう。</p>	

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(8)開かれた学校づくりと安全教育の推進</p>	<p>①地域貢献活動等などの活性化や、ホームページ等を活用した広報活動の充実を図り、家庭や地域との連携を深めるとともに、外部評価結果を生かす取組の推進に努める。</p> <p>②地域と連携した安全・防災教育の積極的な推進に努め、地域防災を担う人材を育成する。</p>	<p>評価指標</p>	<p>①・ボランティア活動を通じて感動や喜び、達成感などを習得し、心豊かな生徒の育成をめざす。</p> <p>・「ホームページが充実しており、学校の活動状況を理解するのに役立っている」と思う割合は、生徒・保護者とも70%以上をめざす。</p> <p>②・防災・減災の意識が向上したと実感できる生徒の割合を80%以上にする。</p>
		<p>活動計画</p>	<p>①・吉野川市「レッツ・クリーン」に参加し環境美化を推進する。</p> <p>・イベントに際しては積極的にボランティアとして参加させる。</p> <p>・ホームページ更新方法の講習会等を開き、掲載情報の拡充に重点を置き、最新情報の掲載や項目の追加を適時効果的に行う。</p> <p>②・より実践的で生徒らが主体的にできる防災訓練・避難訓練を実施する。</p> <p>・地域の防災訓練への参加呼びかけを行う。</p> <p>・防災クラブによる積極的な防災活動を学校行事などを通して実施する。</p>

徳島県立川島高等学校

〒779-3303

徳島県吉野川市川島町桑村367番地3

TEL 0883-25-2824 FAX 0883-25-5340

ホームページ URL <http://kawashima-jhs.tokushima-ec.ed.jp/>

メールアドレス kawashima-jhs@mt.tokushima-ec.ed.jp